

オニアザミ	<i>Cirsium borealinipponense</i> Kitam.	絶滅危惧 I 類
		キク科
選定理由	生育地が限定されているうえ、個体数が少ない。	写真(国立科学博物館) 標本 
形態の特徴	茎は高さ50-100cm、縮れ毛が多く生える。根出葉は開花時にも存在し、長さ30-60cm。茎葉は長い刺があり、基部は茎を抱く。頭花は點頭し、2、3個が集まってつく。総苞は幅2-3cm、総苞片は粘着し、暗紫色を帯びる。筒状花は長さ15-18mm。	
生態的特徴	冷温帯上部の草原や林縁に生える。花期は6-9月。	
分布状況	東北地方から中部地方に分布する。岐阜県では北西部に見られる。	
減少要因	開発による生育地の破壊。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘